

スカパーJSATグループ 2011年度 通期決算説明会

2012年5月10日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。

なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティに関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料デジタル多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

1. 2011年度 通期決算報告

2. 中期計画の進捗状況

3. 2012年度業績予想と各事業の取り組み

連結業績ハイライト

損益概要

営業収益、営業利益、経常利益は過去最高

(単位:百万円)

	FY2010	FY2011	増減率
営業収益	141,850	155,242	+9.4%
営業利益	13,503	17,486	+29.5%
経常利益	12,394	16,702	+34.8%
当期純利益	4,421	8,569	+93.8%
EBITDA ^{*1}	35,256	42,005	+19.1%

*1 EBITDA = (当期純利益) + (税金費用) + (支払利息) + (減価償却費)

有料多チャンネル事業の主要指標

	FY2010	FY2011	FY2011 通期目標
新規加入件数	58.0 万件	67.8 万件	60.8 万件
純増数	3.8 万件	8.9 万件	5.3 万件
累計加入件数	372.5 万件	381.4 万件	377.8 万件
^{*1} 加入者支払単価	3,236 円	3,226 円	—
^{*2} ARPU	1,489 円	1,652 円	—
^{*3} SAC（単価）	34,839 円	30,223 円	—
^{*4} ハイビジョン化率	19.2 %	32.5 %	—

*1 従来の「Gross ARPU」を「加入者支払単価」として表示（3サービスをまとめて算定）。

*2 従来の「Net ARPU」を「ARPU」として表示（3サービスをまとめて算定）。

*3 当第1四半期から会計処理の見直しにより販促費の一部をSACから控除（2010年度数値も見直し）。

*4 $(\text{スカパー！HD累計加入件数}) \div (\text{スカパー！SD} + \text{スカパー！HD累計加入件数})$

「ARPU」の呼称変更

【旧呼称】

【新呼称】

● Gross ARPU



加入者支払単価

(Average Monthly Subscriber's Payment)

= 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価。

● Net ARPU



ARPU

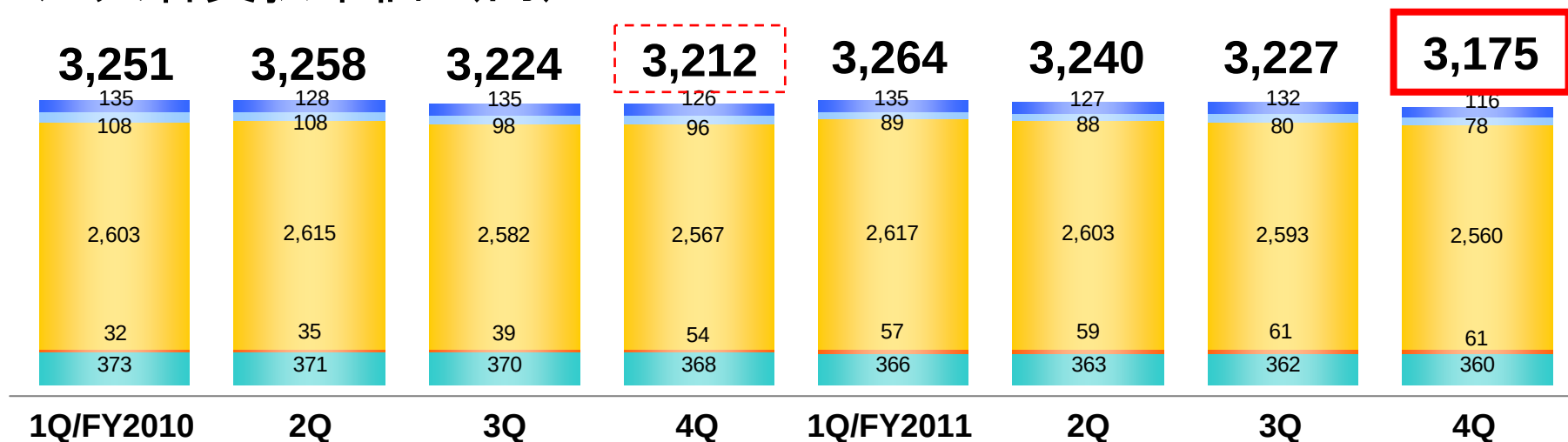
(Average Monthly Revenue Per Unit)

= 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、
当社グループの営業収益計上額。

※各指標の定義は、従来と同じ。

ARPU

● 加入者支払単価^{*}(円)



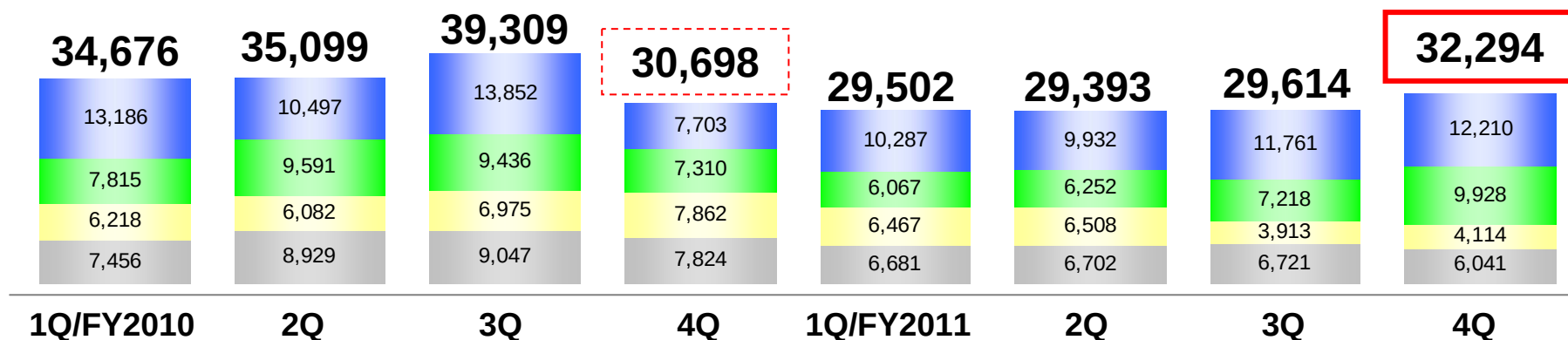
● ARPU^{*}(円)



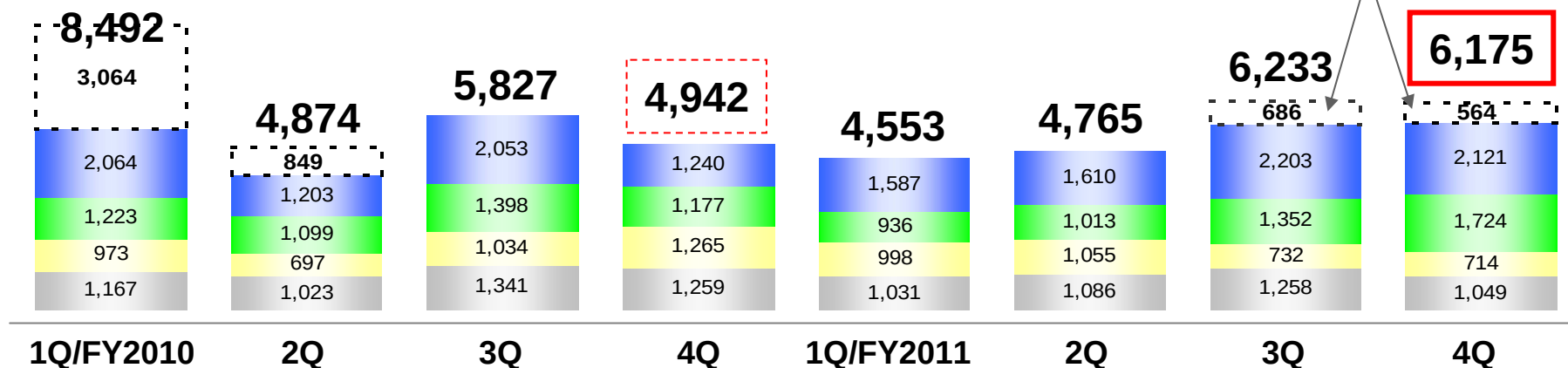
^{*} 従来の「Gross ARPU」を「加入者支払単価」、従来の「Net ARPU」を「ARPU」として表示(3サービスをまとめて算定)。
基本料、レンタル会費、自主コンテンツ収入の加入者支払単価とARPUは同額。

SAC

● 単価 ^{*1} (円)



● 総額 ^{*2 *3} (百万円)



広告宣伝費
 販売促進費
 販売インセンティブ
 その他
 無料コンテンツ費 ^{*1}

^{*1} スカパー！3サービスの合計。SAC単価は、新BS放送等の無料コンテンツ費を除いて算定。

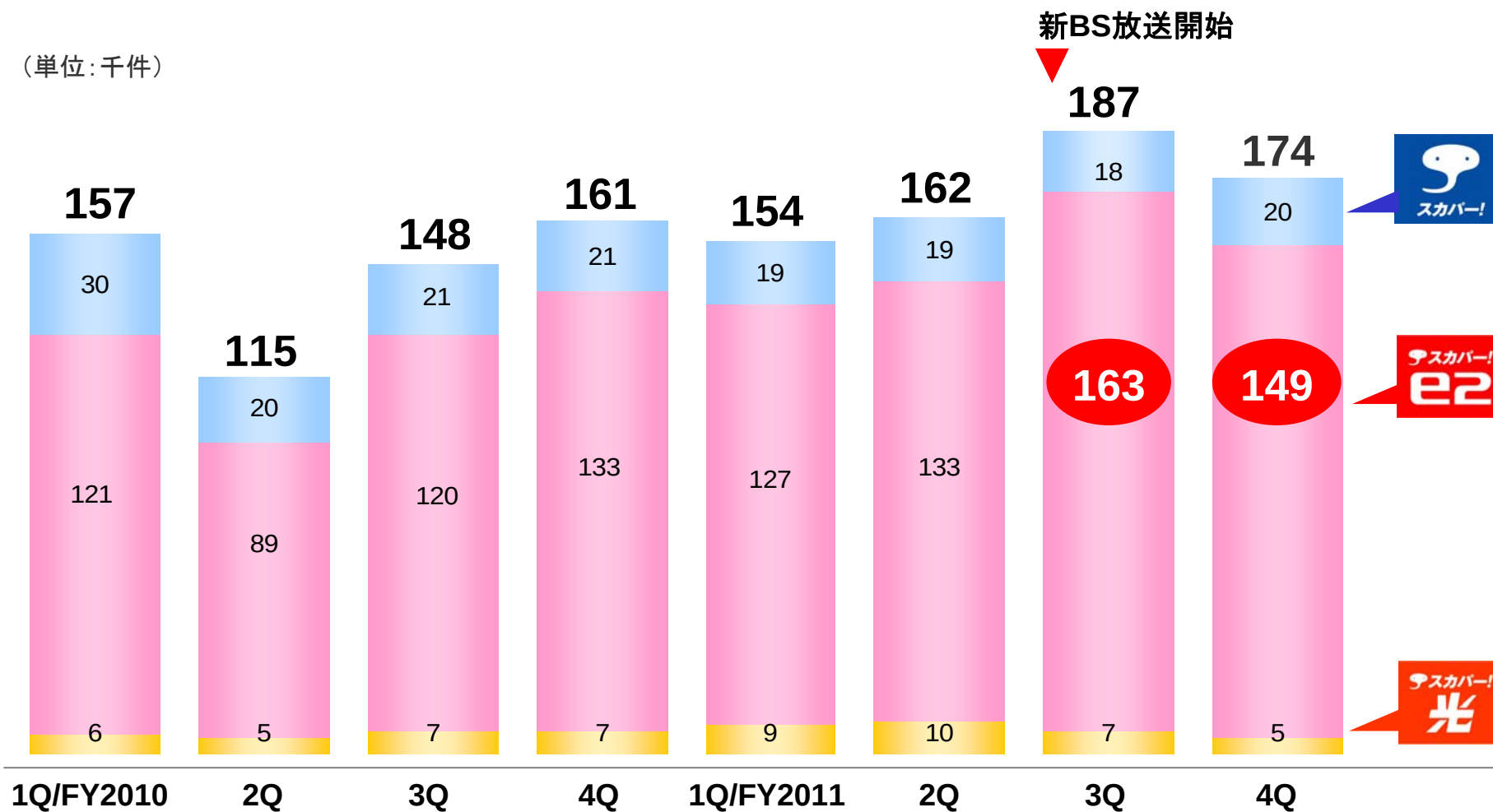
^{*2} SAC総額の「無料コンテンツ費」は、2010年度はW杯関連、2011年度はBS番組制作費等。

^{*3} 2011年度第1四半期から会計処理の見直しにより販促費の一部をSACから控除。

新規加入件数の推移

新BS放送の開始がスカパー！e2の加入増に寄与

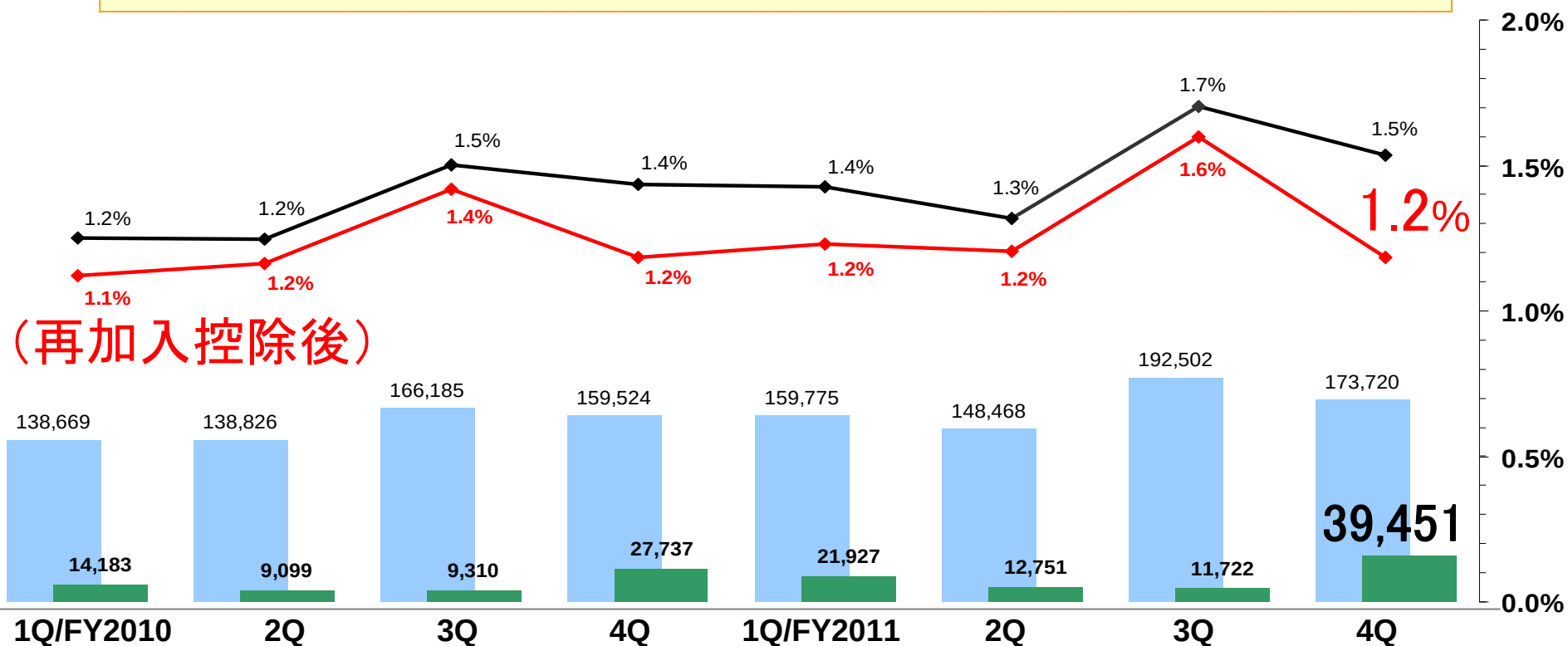
(単位: 千件)



解約率の推移(四半期毎^{*1})

スポーツシーズン開幕で4Qは再加入者が増加

年次^{*2}ベースでは **17.9%** (再加入控除後 **15.7%**)



*1 月次解約率の四半期平均(3サービスをまとめて算定)。

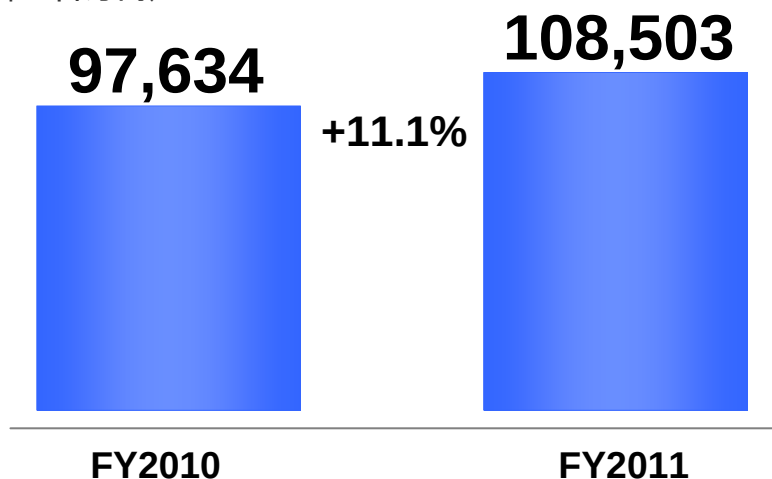
*2 月次解約率を積算したもの。

連結業績解説

営業収益(セグメント別)

有料多チャンネル事業

(単位:百万円)

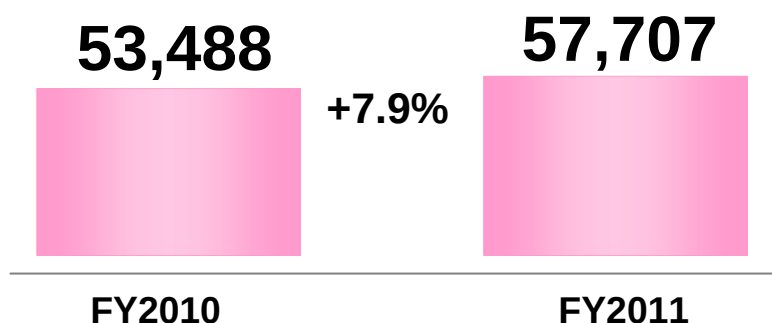


+108 億円 ※セグメント間取引+2.6億円を含む。

- ・視聴料収入の増加: +111 億円
- ・業務手数料収入の減少: ▲30 億円
 - －SD業務手数料: ▲53
 - －e2 業務手数料: +23
- ・その他の収入増: +27 億円

宇宙・衛星事業

(単位:百万円)



+42 億円

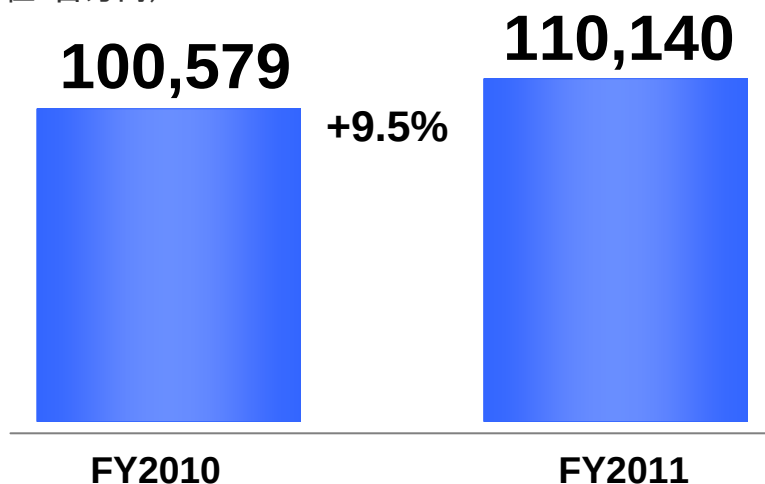
- ・震災関連の衛星利用増等: +28 億円
- ・セグメント間取引: +14 億円

(注)連結消去又は全社の対前年度比が▲17億円。

営業費用(セグメント別)

有料多チャンネル事業

(単位:百万円)

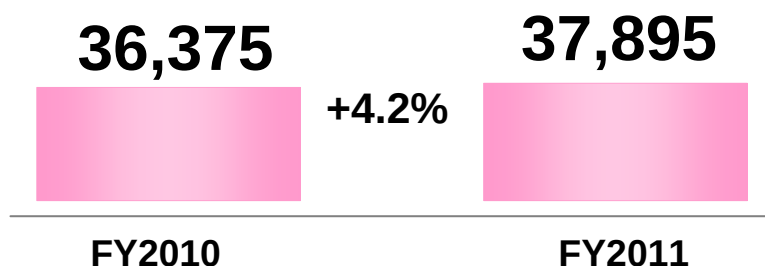


+95 億円

- 前期発生W杯費用の減少: ▲37 億円
- 番組購入費等の増加: +74 億円
- 新BS関連費用の増加: +22 億円
- HD受信機評価損: +6 億円
- その他: +16 億円
- セグメント間取引: +14 億円

宇宙・衛星事業

(単位:百万円)



+15 億円 ※セグメント間取引+2.6億円を含む。

- 衛星事業原価の増加: +6 億円
- 減価償却費の増加: +6 億円
- その他: +3 億円

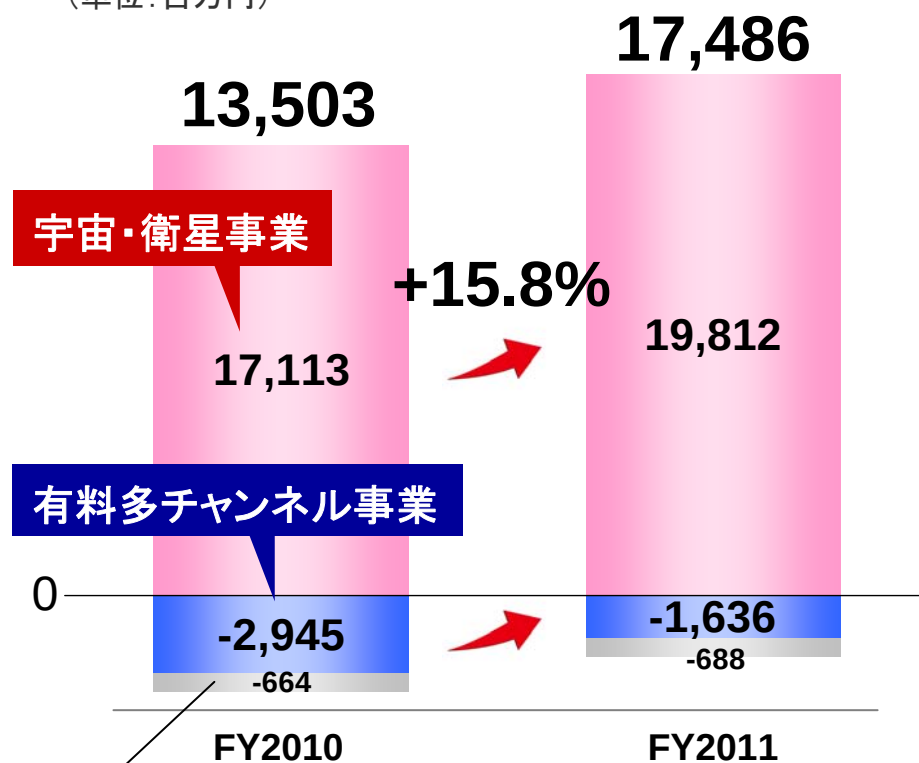
(注)連結消去又は全社の対前年度比が▲17億円。

利益指標

有料多チャンネル事業は改善、宇宙・衛星事業は15%増

営業利益

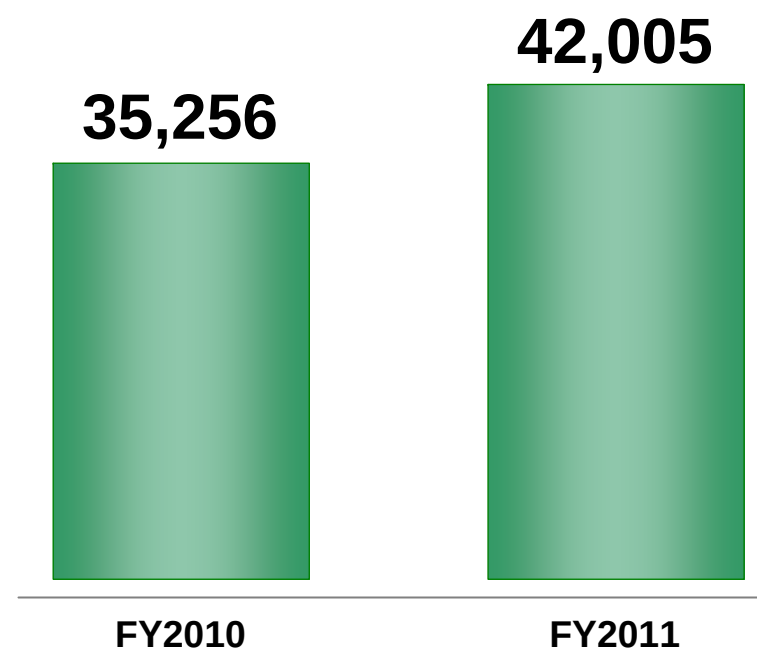
(単位: 百万円)



消去又は全社

EBITDA

(単位: 百万円)



*1 セグメント別の数値は新区分で算定(2010年度数値も見直し)。

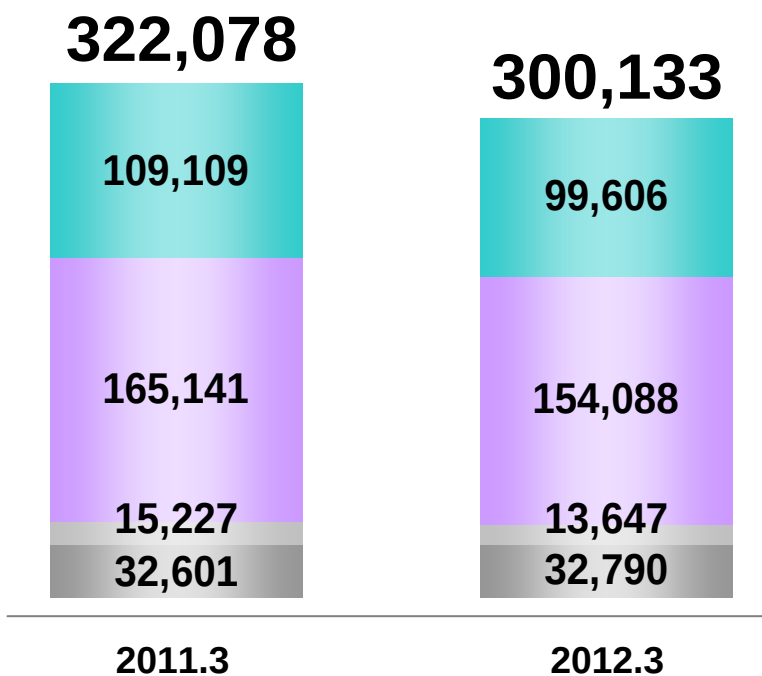
*2 EBITDA = (当期純利益) + (税金費用) + (支払利息) + (減価償却費)

貸借対照表

負債の減少と純資産の増加で財務基盤は更に安定
(自己資本比率: 55.9% ⇒ 61.6%)

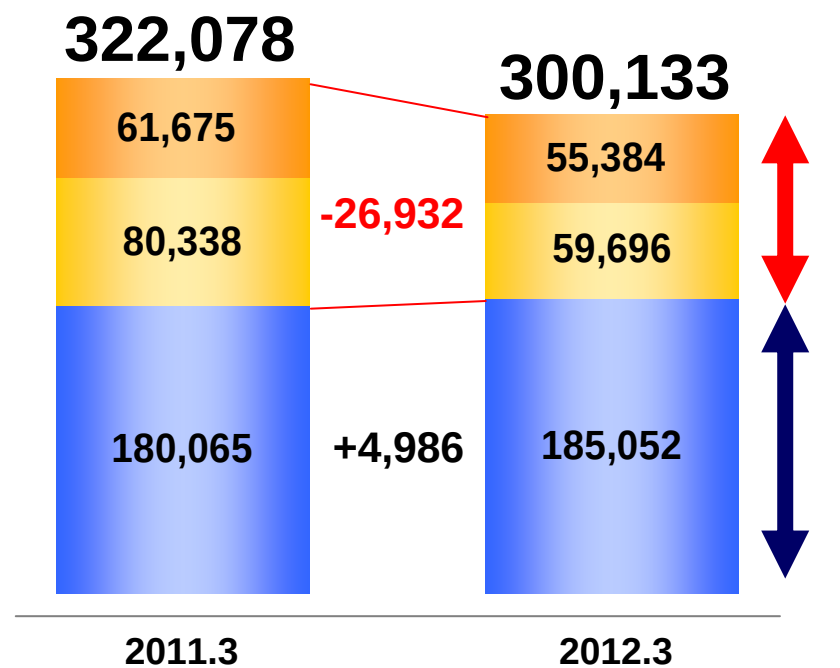
資 産

(単位: 百万円)



負債・純資産

(単位: 百万円)



■ 流動資産
 ■ 有形固定資産
 ■ 無形固定資産
 ■ 投資その他
 ■ 流動負債
 ■ 固定負債
 ■ 純資産

キャッシュ・フロー

借入金返済による純有利子負債の解消(実質無借金)

(単位:百万円)

	FY2010	FY2011	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,956	39,976	+1,019
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲28,595	1,995	+30,590
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲17,302	▲34,993	▲17,690
現金及び現金同等物の期末残高(a)	59,499	66,404	+6,904
有利子負債期末残高 *1 (b)	91,692	62,506	▲29,186
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	32,192	▲3,898	▲36,091
設備・事業投資等 *2	18,182	14,444	▲3,738
フリー・キャッシュ・フロー *3	20,774	25,532	+4,757

*1 借入金＋無担保社債

*2 投資活動によるキャッシュフローから、短期の運用目的有価証券の取得・償還等を除く。

*3 (営業活動によるキャッシュフロー)－(設備・事業投資等)

主要子会社の業績概要

子会社業績も引き続き堅調に推移

(単位:百万円)

		SJC	SPCC	SPBC	OPCT	SNET	JII
事業内容		放送プラットフォーム、 衛星通信	顧客管理	放送事業	光ファイバを 利用した 映像配信	衛星通信 回線再販等	衛星通信 回線販売
保有割合(%)		100	100	100	100	92	100
営業収益	FY2010	121,770	17,596	23,388	9,355	5,019	2,183
	FY2011	124,930	16,393	33,372	10,797	7,162	2,032
営業利益	FY2010	12,617	297	259	819	427	822
	FY2011	15,886	250	370	1,203	572	837
経常利益	FY2010	12,023	315	260	734	396	825
	FY2011	15,982	267	375	1,140	506	838

SJC:スカパーJSAT株式会社

SPBC:株式会社スカパー・ブロードキャスティング

SNET:株式会社衛星ネットワーク

SPCC:株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ

OPCT:株式会社オプティキャスト

JII:JSAT International Inc.

1. 2011年度 通期決算報告

2. 中期計画の進捗状況

3. 2012年度業績予想と各事業の取り組み

グループ連結目標(2015年度)

- 営業収益 **2,000** 億円以上
- 営業利益 **200** 億円以上（営業利益率10%以上）
- EBITDA **500** 億円以上



有料多チャンネル事業は、加入件数**400**万件以上を達成して有料放送のリーディングカンパニーとしてのポジションを強化



宇宙・衛星事業は、国内事業基盤を強化し、また、海外売上比率を拡大させ、名実ともにアジア・大洋州**No.1**の地位を確立



有料多チャンネル事業

重点施策

成果・進捗状況

1

スカパー！e2を主軸とした
新規加入拡大

• BS新チャンネル放送スタート
⇒過去最高の新規加入獲得

2

スカパー！HD移行促進による
顧客規模の維持

• 高ARPU加入者向け受信機配布開始
⇒更に加速が必要

3

ネット・モバイルサービスの開発

• TV番組情報サービス「テレコ！」開始
• 「スカパー！オンデマンド」開始

4

お客様視点でのマーケティング

• 各種販促キャンペーンの積極的展開
• ロイヤルティ・プログラムの強化

5

コスト構造の抜本的な見直し

• カスタマーセンターの構造改革
⇒約10億円のコスト削減を実施

重点施策

成果・進捗状況

1

国内衛星ビジネスの基盤強化

- 震災後の一時的需要増に迅速に対応
- BCP関連の新規顧客の開拓

2

宇宙ビジネスの推進

- 政府系ミッションへの参入検討
- オールジャパンでの衛星インフラの海外向け提案 ⇒ 中長期的なテーマ

3

新規事業領域への積極展開

- クラウド・ストレージサービス提供拡大
⇒ 専門部署の新設、体制強化

4

海外衛星ビジネスの拡大

- Horizons-2 をインド洋上に移動
- JCSAT-13 打ち上げ(2012年5月)

5

コスト構造の抜本的な見直し

- 衛星管制・サービスの集約・効率化
⇒ 統合時点から約20%の管制コスト削減

1. 2011年度 通期決算報告

2. 中期計画の進捗状況

3. 2012年度業績予想と各事業の取り組み

連結業績予想

2012年度 加入計画

	FY2011	FY2012 (計画)
新規加入件数	67.8 万件	68.3 万件
 スカパー! (SD/HD)	7.5 万件	12.0 万件
 スカパー! e2	57.1 万件	53.8 万件
 スカパー! 光	3.1 万件	2.5 万件
累計加入件数	381.4 万件	392.0 万件
 スカパー! (SD/HD)	196.3 万件	183.6 万件
 スカパー! e2	173.7 万件	196.8 万件
 スカパー! 光	11.4 万件	11.7 万件
純増数(3サービス計)	8.9 万件	10.6 万件
ハイビジョン化率	32.5 %	54.7 %
年次解約率	17.9 %	17.1 %

2012年度 連結業績予想

(単位:百万円)

	FY2011	FY2012 (計画)	増減率
営業収益	155,242	164,000	+5.6%
営業利益	17,486	16,000	▲8.5%
経常利益	16,702	15,500	▲7.2%
当期純利益	8,569	9,000	+5.0%
1株当たり配当金(円)	1,200	1,200	-

(参考数値)セグメント別業績予想

(単位:百万円)

	FY2012 (計画)			連結合計
	有料多CH 事業	宇宙・衛星 事業	消去又は 全社	
営業収益	119,600	56,300	▲11,900	164,000
営業費用	120,400	38,800	▲11,200	148,000
営業利益	▲800	17,500	▲700	16,000

有料多チャンネル事業の 取り組み

スカパー！e2(CS110度)の帯域整理とチャンネルの充実

“手軽な視聴環境”のe2が、更に充実のラインナップへ

本年2月に以下のチャンネル(HDTV・SDTV)が認定されました。

GAORA
朝日ニュースター
MTV
テレ朝チャンネル
TBSチャンネル HD
Super！ Drama TV HD
スカイ・A sports＋
時代劇専門チャンネル
ファミリー劇場HD
MUSIC ON！ TV HDTV:10番組

囲碁・将棋チャンネル
衛星劇場
東映チャンネル
ディズニージュニア SDTV:4番組

既存チャンネル10チャンネルがハイビジョン化され、2チャンネルが新規に開局した結果

スカパー！e2
ハイビジョン33チャンネル、標準画質35チャンネル 計68チャンネルへ

年間の編成とコンテンツの強化

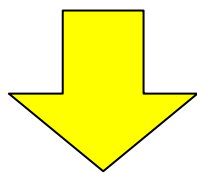
チューナー内蔵TV普及を踏まえ、お試し視聴機会提供を中心に

2012 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開放 デー	1日		3日	1日	5日	2日		4日	2日		3日	
特番	<拡大> 5/3(木祝)～5/6(日) の4日間			<超拡大> 10月上旬予定 10日間クラス			<拡大> 1/1(火祝)～1/6(日) の6日間			<超拡大> 3/1(金)～3/10(日) の10日間		
	夏の特番まつり 7/14(土)～7/16(月祝) 3連休				秋の特番まつり 10月上旬予定 10日間クラス				春の特番まつり 2/9(土)～2/11(月祝) 3連休			
編成	野球開幕～交流戦 アニメ GW一挙放送 海外ドラマ 韓流ジャンル e2 新HDchスタート 新規開局 夏フェス 欧州サッカー 映画 時代劇 年末年始編成 音楽ライブ Jリーグ 野球開幕											

カスタマーセンターの構造改革

将来を見据えた、構造改革の実施

考え方



- 拠点分散によるリスク対応の強化
- 抜本的なコスト構造の改革

- カスタマーセンター2拠点化。札幌 + 沖縄(新設)
横浜センターは廃止。
- 各拠点は専用ネットワーク網を通じ、
マルチオペレーションを実施。相互補完。



(写真) 沖縄センター

今後の販促展開

視聴環境整備とスカパー！HDへの移行促進

サービス共通施策

■『アンテナあげます！つけます！キャンペーン』の今期継続
加入障害の大きな問題を解決。



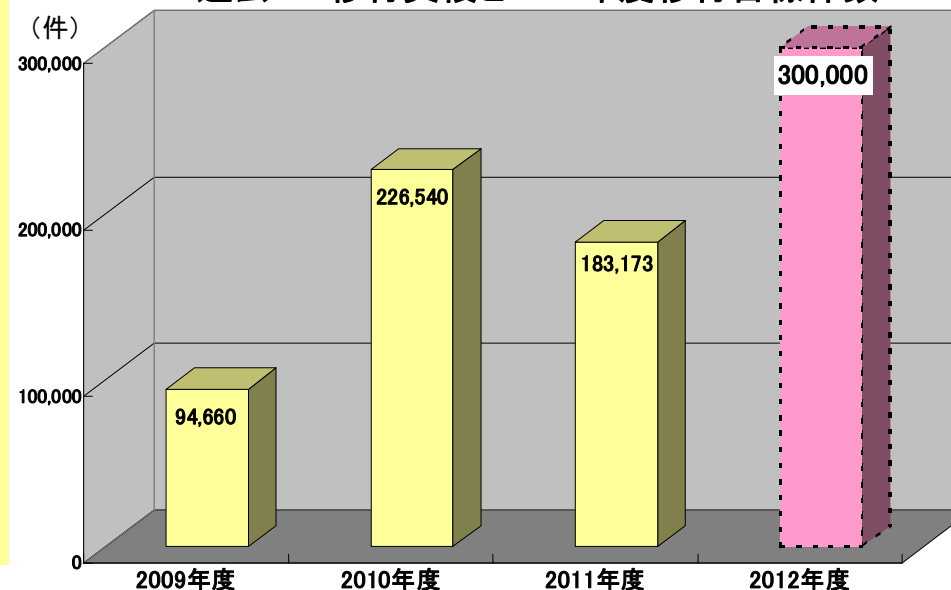
HD移行施策

■2011年度同様、高ARPUの
お客様限定移行施策の継続。

※2011年度移行合計

183,173件 ⇒ 30万件へ

過去HD移行実績と2012年度移行目標件数



VODの本格スタートとスカパー！サービスとの連携

スカパー！サービス契約者への無料キャンペーン等実施



加入者が利用しやすい料金設定、加入者キャンペーンでお試し0円など実施



どこでもJリーグLIVEキャンペーン

専用アプリ無料配布開始 「途中再生」「追っかけ再生※」が可能になり、Jリーグの試合をライブで視聴可能

～どこでもJリーグLIVEキャンペーン～

お手持ちのスカパー！HDチューナーで見たままを「いつでも・どこでも・何度でも！」

どこでもJリーグLIVEキャンペーン

キャンペーン期間：Jリーグ2012年シーズン(2012年3月1日～2012年12月31日ご契約分)

スマートフォン、タブレット、パソコンでJ1・J2リーグ戦のライブ中継などを見られる！

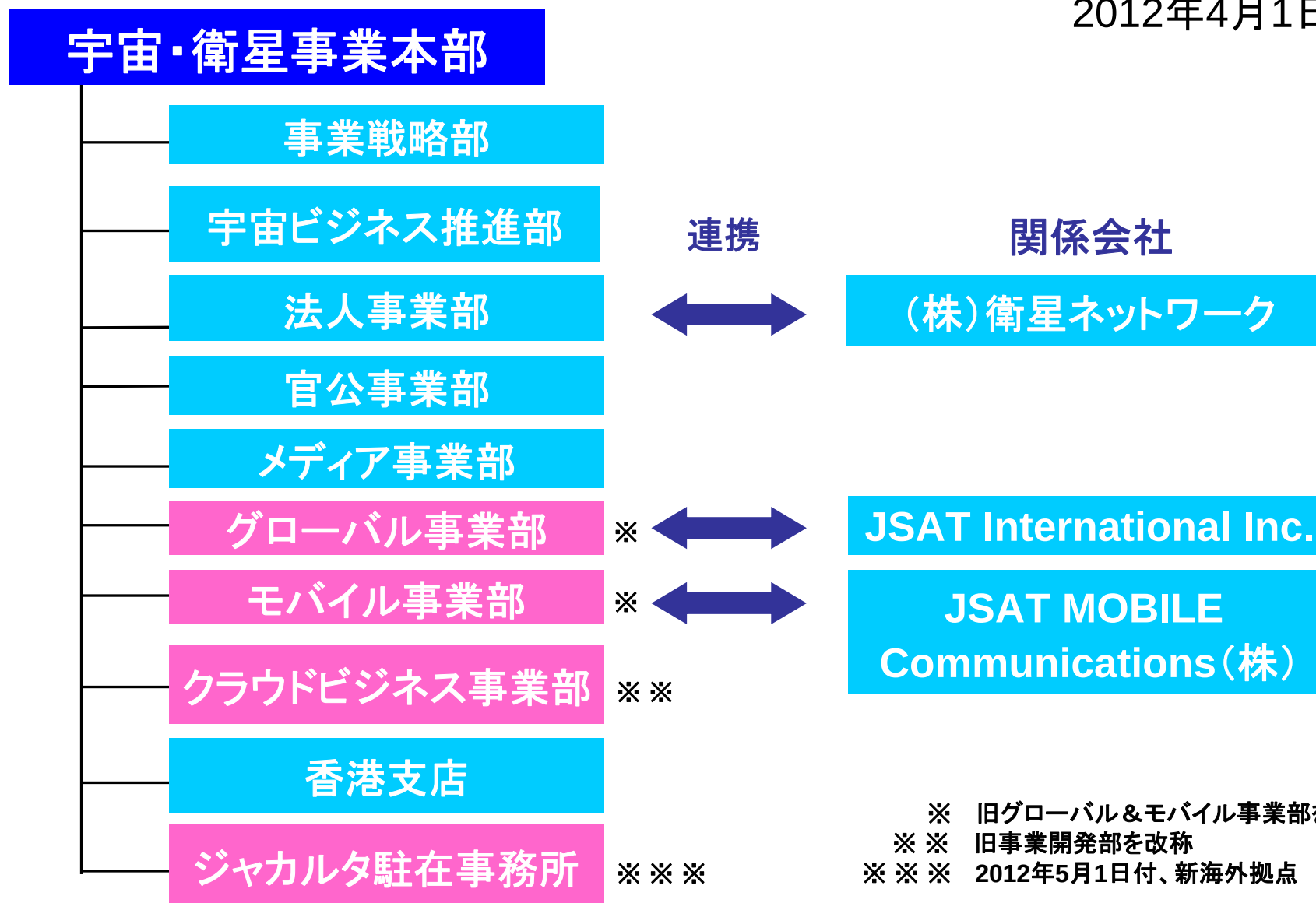
キャンペーン対象のJリーグ系セット契約者は **0円/月**



宇宙・衛星事業の 取り組み

今後の事業展開に向けた組織の変更

2012年4月1日付



グローバル事業の更なる拡大

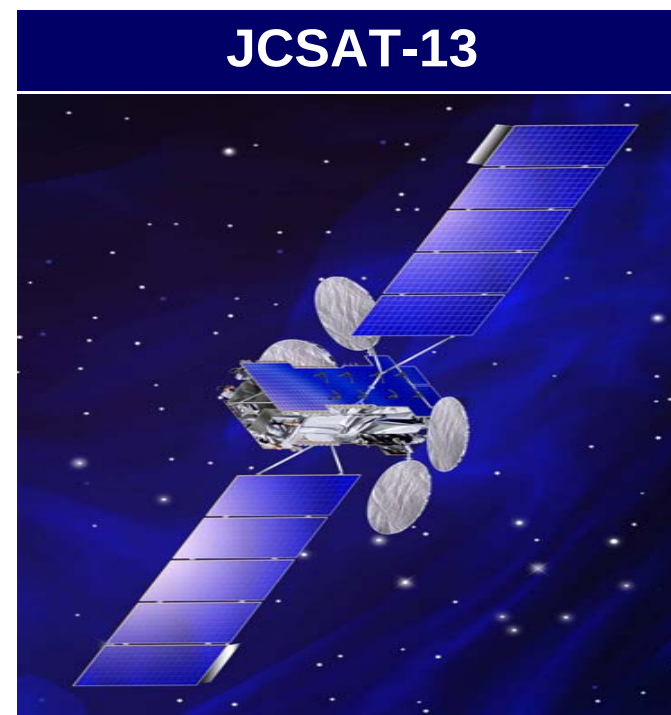
アジアビジネスの強化

① ジャカルタ駐在事務所の開設

- 2012年5月、香港支店に続く新たな海外拠点を開設

② JCSAT-13打ち上げ

- 2012年5月16日朝（日本時間）、南米仏領ギアナより打ち上げ予定
- 東経124度
- 東南アジアビーム、可動ビーム搭載



③ 既存衛星の海外向けトランスポンダの販売促進

モバイル事業の拡大

「海洋ブロードバンドサービス」の販売拡大

海洋ブロードバンドサービス



船舶向け衛星通信サービス事例

■ 商船三井グループ

- 客船「にっぽん丸」
- LNG船「エネルギーナビゲーター」ほか4隻



にっぽん丸

■ 川崎汽船

- コンテナ船
「BROOKLYN BRIDGE」
- ばら積み貨物船
「CORONA JOYFUL」



BROOKLYN
BRIDGE



CORONA JOYFUL

新たなBCP需要への取り組みの深化

BCPの見直し需要と衛星携帯電話需要への対処

① VSATサービスによる新たなBCPプランの提供

防災プラットフォームサービス

EsBird
エスバード

衛星IPネットワークサービス

ExBird
エクスバード

東京直下型地震の情報・電源・交通インフラ被害想定を考慮した、災害対策本部の初動を支援する衛星通信ソリューションの提案



② 新たな衛星携帯電話端末の市場投入

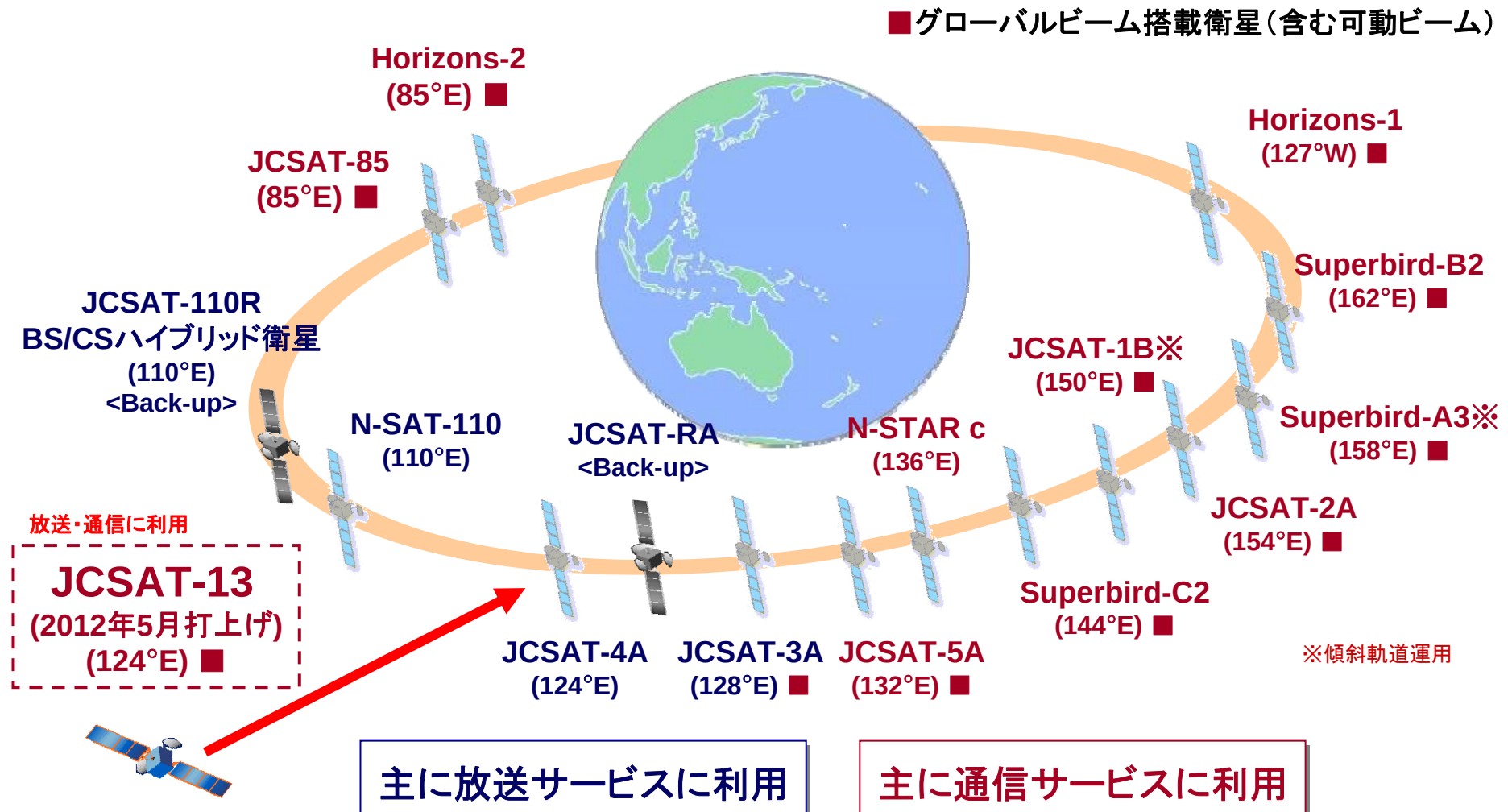
IsatPhone Pro

2012年度6月中に**免許取得予定**



(参考) 衛星フリート図

北米上空からインド洋上空まで計15機の衛星を保有



本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部

TEL: 03-5571-1515

FAX: 03-5571-1760

E-Mail: ir@skyperfectjsat.co.jp